

GA初心者の方に！ ディメンションを学ぼう

TOPIC

1. ディメンションとは
2. 事前定義のディメンションと、カスタムディメンション
3. ディメンションのスコープ



この講座の内容

- ディメンションとは
- 事前定義のディメンションと、カスタムディメンション
- ディメンションのスコープ

GA初心者のあなたに！ディメンションを学ぼう

ディメンションとは



ディメンションとは

おさらい1 ディメンションは「分析軸」 / 指標は「数値」

ディメンション

「〇〇毎の」と言い換えられる
入る値：テキスト形式

指標

測定された数、「〇〇数」
入る値：数値形式

もっと詳しく知りたい人は、基本編 集中講座「はじめてのGA4 前編」をチェック！

ディメンションとは

おさらい2

代表的なディメンションと指標の組み合わせ

ページ毎のページビュー数
→ ページタイトルと表示回数



新規ユーザー数が多かった参照元（流入元）
→ ユーザーの最初の参照元と新規ユーザー数

事前定義のディメンションと カスタムディメンション



事前定義のディメンションと、カスタムディメンション

おさらい3 事前に定義されているディメンション

GA4にあらかじめ用意されているディメンションは、なんと...

300以上！

事前定義のディメンションと、カスタムディメンション

おさらい3 自社オリジナルのディメンション「カスタムディメンション」

自社独自の分析軸を用意したい場合には、カスタムディメンションを使用。

- 例)
- 会員番号
 - 好きな○○
 - 競技名、商品名、ジャンル等
 - ライター名
 - 会員ランク
 - 作品名・作者名
 - 入会年月日
 - ログインの有無
 - カテゴリ名

ユーザー固有の情報



サイトや商品固有の情報



もっと詳しく知りたい人は、基本編 集中講座「はじめてのGA4 前編」をチェック！

事前定義のディメンションと、カスタムディメンション

▶ステップ1

会員番号を「ユーザープロパティ」として計測
(イベントスコープの場合は「イベントパラメータ」)

※計測のための実装・追加設定が必要になります。計測に関わっている方に要相談！

▶▶ステップ2

「ユーザープロパティ」を、カスタムディメンションとして登録

※プロパティの編集権限が必要になります。

▶▶▶ステップ3

レポートや探索で「カスタム」という項目から、カスタムディメンションを選んで、
分析に利用する

もっと詳しく知りたい人は、基本編 集中講座「はじめてのGA4 後編」をチェック！

ディメンションのスコープ



ディメンションのスコープ

知ってた？ スコープによって、紐づくデータが違う！

ユーザースコープ：イベントやセッション関係なく、**ユーザー**に紐づく

例) ユーザーの最初の参照元、年齢、性別、地域 等 / 会員番号、会員ランク 等

セッションスコープ：その**セッション中のすべてのイベント**に紐づく

例) セッションの参照元、ランディングページ+クエリ文字列 等

イベントスコープ：その**イベントのみ**に紐づく

例) ページパスとスクリーンクラス、コンテンツグループ 等 / ライター名、作品名 等

アイテムスコープ：eコマースイベントの**商品アイテムにのみ**紐づく

例) アイテム名、アイテムのカテゴリ、アイテムID 等 / カラー、サイズ 等

GA初心者のあなたに！ディメンションを学ぼう

まとめ



まとめ

- **ディメンションとは「分析軸」のこと**
 - 「〇〇毎の」と言い換えられる
- **ディメンションは2種類**
 - 事前定義されたディメンション
 - 自社独自のディメンション「カスタムディメンション」
- **ディメンションのスコープ**
 - スコープによって、紐づくデータ（ユーザー、セッション、イベント、アイテム）が変わる
 - カスタムディメンション登録時には、事前によく定義を検討しましょう

ご視聴 ありがとうございます

